

高知県レッドリスト(両生類)

レッドリストの改訂対象種				改訂後 ランク	理由	備考	高知県2002 ランク	環境省2017年 ランク
目	科	種	学名					
無尾	アカガエル	ニホンアカガエル	<i>Rana japonica</i>	絶滅危惧Ⅰ類	既知の繁殖地で見られなくなった。生息環境の悪化、冬場の水場減少などが影響している。		準絶滅危惧	
有尾	サンショウウオ	トサシミズサンショウウオ	<i>Hynobius tosashimizuensis</i>	絶滅危惧Ⅰ類	生息地の保全を実施しないと野生絶滅になる恐れがある。	和名・学名変更 オオイタサンショウウオ <i>H. dunnii</i>	絶滅危惧ⅠA類	
有尾	サンショウウオ	カスミサンショウウオ	<i>Hynobius nebulosus</i>	絶滅危惧Ⅰ類	改訂前と同様に絶滅危機に瀕している。		絶滅危惧ⅠA類	絶滅危惧Ⅱ類
有尾	サンショウウオ	コガタブチサンショウウオ	<i>Hynobius yatsui</i>	絶滅危惧Ⅱ類	生息環境の悪化が懸念される。	和名・学名変更 ブチサンショウウオ <i>H. naevius</i>	絶滅危惧Ⅱ類	準絶滅危惧
有尾	サンショウウオ	シコクハコネサンショウウオ	<i>Onychodactylus kinneburi</i>	絶滅危惧Ⅱ類	捕獲圧生息環境の悪化および捕獲圧による絶滅危機が増大している。	和名・学名変更 ハコネサンショウウオ <i>O. japonicus</i>	絶滅危惧Ⅱ類	絶滅危惧Ⅱ類
有尾	サンショウウオ	イシツチサンショウウオ	<i>Hynobius hirosei</i>	準絶滅危惧	四国の個体群が四国固有種となり、捕獲圧も危惧される。	和名・学名変更 オオダイガハラサンショウウオ <i>H. boulengeri</i>	準絶滅危惧	準絶滅危惧
有尾	オオサンショウウオ	オオサンショウウオ	<i>Andrias japonicus</i>	情報不足	近年、県下で自然繁殖が確認され、これらが在来個体である可能性が否定できない。科学的裏付けのある判断がなされるまで改訂前と同様、情報不足とした。		情報不足	絶滅危惧Ⅱ類
無尾	アカガエル	トノサマガエル	<i>Pelophylax nigromaculatus</i>	除外	本県では中山間地域の水田環境に普通に生息し、生息個体数はかなり多いものと考えられる。全国では少なく、環境省ランクの準絶滅危惧種である。		準絶滅危惧	準絶滅危惧